



羅針盤 No.31

東港金属株式会社
 東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <http://www.tokometal.co.jp>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

彼岸と共に風立ちぬの季節が巡ってきました。先人の観察力、知恵に学ぶことは多いものですが、気候の慣用句である「暑さ寒さも彼岸まで」もその通りでした。今夏はまさに酷暑続きで、関東地方は雨も降らず、ついには首都圏の水がめといわれる矢木沢ダムの取水制限が行われるほどの渇水に見舞われました。自然が落とす雨によって植物も動物も生かされており、日本では当たり前にある水もまた無駄には使えない資源であることを実感させられました。雨は(砂漠など殆ど降らない例外はありますが)どこにでも雲が運んで来てくれます。しかし、地下資源は特定された場所からしか採れませんので、新たな資源の発見情報で隣接する国と国との間での取り合いに発展し、地球上の紛争の大きな原因の一つにもなっています。私達に出来ることは、先ず第一に身近にある資源を大切に使い、使い終わったらリサイクルさせることによって、少しでも多くの資源を次世代のためにつないでいくことでしょうか。



東港金属は、先人より伝わる「もったいない」の心を仕事の上で実践し、工夫努力を続けています。非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物処理等、皆様の身近なりサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。

営業部 Y の考察

☆羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの10月予測

- 鉄スクラップ** → 考察) 9月の鉄スクラップの価格はひどかったです。指標となる東鉄宇都宮工場の特級価格が@27,500円でスタートし最終的には@24,500円と@3,000円も下がりました。10月は、主要な輸出国である韓国の買いが弱い為、国内の電炉・高炉メーカーの価格も上がらず、製品在庫も多いため生産を増やしていない。それにより中旬までは下がると思われます。しかし、そろそろ下げ止まりになるでしょう。
- 銅** ↗ 考察) 9月はLME7,500ドル台/トンでスタート。国内銅建値640,000円/トンでスタートし一時は銅建値@700,000円まで上がりましたが、最終的には680,000円/トンで終了しました。10月に関しては米経済指標が良好ですが欧州債務問題等で価格が変動する為、上げ下げを繰り返すと思われます。
- アルミ** → 考察) 8月はLME1,840ドル台/トンでスタートし、最終的には2,100ドル台/トンで終了。多少ではありますが上昇しました。しかしながら、エコカー減税の終了で車の製造は抑えられると思われます。10月は、下がるでしょう。
- プラスチック** ↘ 考察) 9月の国内は、ペットボルの売却価格がかなり下がりました。中国輸出も厳しい状態です。価格だけでなく、品質もかなり厳しくなっています。10月は、プラ全体が下がると思われます。

9月予測の自己評価

鉄スクラップ	○	アルミ	×
銅	○	プラスチック	○



京浜島日記

(第15回)

10月になりようやく暑さが薄らいできました。寒くなったり暑くなったりですので風邪などひかないようご注意ください。

さて、東京都内は解体工事などが多くなってきているようで、業者は職人さん達の確保に大変なようです。来年位までは建設廃材系のものが増えてくる事が見込まれます。マスメディア情報では、不況になったり景気回復したり、欧州危機が深刻であったり、私たちはそれらを見て一喜一憂するわけですが、最後は自分自身の感覚を元に判断するほかは無いです。確かに暗くなるニュースばかりではありますが、良い点も悪い点も現実にあるわけで、楽観も悲観もしないというのが私の考えです。話は若干飛びますが、ゴルフでもこういう目の前の事象に一喜一憂しないというメンタリティがよいようです。しかし私の場合は判っていてもそうならず、ミスを引きずり不貞腐れるという悪いゴルフになるようです。判っていても出来ない、というのが人間社会の常であるようです。ただ、せめて仕事においては、当社においては、自分を律していきたいと思えばかりです。

さて、京浜島日記は今回で一区切りさせていただき、隔月ではなく不定期で載せていく事になりました。2カ月に1回駄文にお付き合い頂き誠にありがとうございました。今後とも羅針盤をどうぞよろしく申し上げます。

(代表取締役 福田 隆)

* 27箇所の「都市鉱産」モデル基地は以下の通りです。

- 天津子牙循環経済産業区、寧波金田産業園、
- 湖南汨羅循環経済工業園、広東清遠華清循環経済園、
- 安徽界首田宮循環経済工業区、青島新天地静脈産業園、
- 上海燕龍基再生資源利用示範基地、
- 広西梧州再生資源循環利用園区、
- 江蘇邳州市循環経済産業園再生鉛産業集聚区、
- 山東臨沂金升有色金属産業基地、重慶永川工業園区港橋工業園、
- 浙江桐廬大地循環経済産業園、湖北谷城再生資源園区、
- 大連国家生態工業示範園区、江西新余鋼鉄再生資源産業基地、
- 河北唐山再生資源循環利用科技産業園、
- 河南大周鎮再生金属回収加工区、福建華閩再生資源産業園、
- 寧夏靈武市再生資源循環経済示範区、北京綠盟再生資源産業基地、
- 遼寧東港再生資源産業園、
- 佛山市贏家再生資源回收利用基地、
- 滁州廢棄自動車循環経済産業園、新疆南疆城市鉱産示范基地、
- 山西吉天利循環経済科学技術産業園区、
- 黒龍江省東部再生資源回收利用産業園区、
- 永興県循環経済工業園区

☆羅針盤

中国における都市鉱産プロジェクトの実態分析と課題導出

車佳 (CHE, JIA) Ph.D.
 日本学術振興会JSPS 外国人特別研究員
 東北大学大学院 国際文化研究科

都市鉱産(注1)の現況分析

中国政府は国内の再生資源回収利用業界の経営分散、秩序の混乱などの深刻な問題を解決するため、2010年5月12日の「(国家発展改革委員会、財政部)都市鉱産モデル基地の建設に関する通知(發改環資【2010】977号)」を打ち出してきた。現時点で(2012年9月)、「都市鉱産」モデル基地は27箇所*にある。中国政府が都市鉱産プロジェクトという斬新な概念を用いて、国内の静脈産業・リサイクル業界を再編・統合しようとするのが明らかになった。

都市鉱産の課題と今後のあり方

現在、主に地元の国営企業を中心に、土地取得、先進的なリサイクル設備の導入を行いつつ、一方では日本の大手商社やリサイクル業者が積極的に中国の静脈産業・リサイクルマーケットに進出し、業務提携・技術支援などの形でこれらの企業と連携するケースもよく見られた。しかし、これらのケースはまだ本格的な稼働にはほど遠い状況であった。さらに、中央政府からの補助金支援がいつまで続くのか、数年後に地元の国営企業は自立して運営できるかどうか(リサイクル・静脈産業についての認識・知識の不足、ビジネス経験が乏しい)が大きな課題であると考えている。

また、都市鉱産プロジェクトの計画や目標の詳細な確認などの【事前評価】、実施過程及び運用成果の【事後評価】を第三者(中立)の立場でどのような国の組織が、どのような項目と基準および指標で行うのかはまだ明確に見えていない。雇用拡大、税収増加、環境保全などの側面から都市鉱産プロジェクトのガイドライン・マニュアルなどの作成が不可欠だと考えている。今後、引き続き様々な国内の事例を対象に調査・分析を行い、都市鉱産プロジェクトの妥当性、実効性に関する議論が必要であり、それぞれの都市鉱産プロジェクトに対して政策評価を行うべきである。

(注1) 都市鉱産(鉱山)とは
 家電製品などに使われているレアメタル(希少金属)など有用な物質を再生可能な資源と見なし、それが廃棄されて集まる場所を都市の中の鉱山に見立てたもの。天然資源に乏しい日本にとっては重要なリサイクル資源として見直されている。(出所:大辞泉より)